事例No.	3214
公表年度	R6
団体の属性	その他
団体名	平川村定住推進協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

みんなが主役天空の郷・平川
～地域ぐるみの定住・新規就農者の受入体制確立～

出典

令和６年度優良事例表彰

全国過疎地域連盟会長賞

岡山県高梁市（たかはしし）

平川村（ひらかわむら）定住推進協議会

みんなが主役天空の郷・平川
～地域ぐるみの定住・新規就農者の受入体制確立～



令和6年度総会において会員、行政関係者などで力強く「頑張ろう！」コールをしている様子（R6.6.27）

審査講評

評価のポイント

▶ 移住希望者が、まずは通いながら平川地区での暮らしや農業を体験できる制度が整っており、その結果、移住者13組29人が全員定着している。ミスマッチを防ぎ、地域、移住者双方に良い形になっている。

審査委員のコメント

地域も移住者も安心できる環境を整備

地区内に「お試し住宅」を整備しており、希望者が仕事を退職することなく都合の良いときに宿泊し、農作業や地域行事の体験、住民との交流を行うことができている。ゆっくり時間をかけて両者の信頼関係を構築できることが大きなメリットであり、現地調査でも移住者からも安心して移住できたという声が聞かれた。その体制の整備に向けて、地区内の推進協議会で丁寧に議論し、合意形成を行っている姿勢も印象的であった。



取組の概要

平川村定住推進協議会は、地域の特産品であるぶどうやトマトを栽培し、定住・就農を希望する方と地域とのマッチングを図っており、また地域も農地や住居等の紹介・斡旋など行うことで、産地を維持しつつ、定住を促し地域活性化を図っている。

【具体的な取組】

①協議会が自主的に移住者（ぶどう・トマトの新規就農者）の受入体制を整備

②農業・田舎暮らし体験の場を提供　　③農地や空き家調査の実施



体感田舎暮らし事業のオリエンテーションの様子



就農希望者に対して栽培方法など説明する農家



新規就農者を受け入れるために、2017年に整備したほ場（1.8ha）には4農家が営農している



一時、就学前の子供が1人の時もあったが、現在では7人まで増えた

取組のKEY PLAYER



江草 孝一さん
［平川村定住推進協議会 会長］

諸先輩方の思いと関係機関（者）等の協力があって進めてきた15年。

私は3代目の会長としてお世話をさせてもらっています。立ち上げから軌道に乗るまでには、諸先輩方の「産地を守る」、「農業振興で地域を活性化」という強い思いがあったからこそ、ここまで継続できていることと感謝しています。

また、これは県、市、農協など関係機関とも情報を共有し、連携している成果でもあると思っています。

お陰様で、組織の役員も半数がかつての新規就農者・移住者となり、指導農家としても活躍してもらっています。

「気負わず、焦らず、諦めず」を組織の合言葉として、今後も地道に着実に取り組んでいきたいと考えています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

江草 孝一さん［平川村定住推進協議会 会長］／**物部 徹也**さん［平川村定住推進協議会 副会長］／**佐久間 秀治**さん［平川村定住推進協議会 副会長］

瀬戸川 伸行さん［平川村定住推進協議会 監事］／**丹正 鎮夫**さん［平川村定住推進協議会 事務局長］

岡山県高梁市（たかはしし）

団体名……平川村定住推進協議会
所在地……〒716-0311 岡山県高梁市備中町平川11457
連絡先……TEL：0866-45-2359　090-8249-7374
E-mail：info@hirakawa-teijyuu.jp
URL：https://hirakawa-teijyuu.jp/



自治体・団体の詳細はこちらからご覧いただけます。